

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年11月10日
【四半期会計期間】	第85期第2四半期（自平成29年7月1日至平成29年9月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第84期 第2四半期 連結累計期間	第85期 第2四半期 連結累計期間	第84期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (千円)	1,460,814	1,367,087	2,694,075
経常利益 (千円)	96,465	68,223	91,380
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	59,804	43,618	56,612
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	88,560	46,140	77,773
純資産額 (千円)	2,411,172	2,395,447	2,375,027
総資産額 (千円)	3,615,353	3,567,921	3,568,656
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	28.24	21.22	27.04
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	64.6	65.0	64.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	23,701	115,468	233,577
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	18,553	29,069	39,431
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	27,236	58,036	17,424
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	225,480	433,026	404,664

回次	第84期 第2四半期 連結会計期間	第85期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.86	9.50

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成30年3月期第2四半期の売上高につきましては、前年同四半期と比較して管瓶の売上は昨年同様に順調に推移しましたが、海外向け製剤に使用されるアンプル等の売上が減少したため昨年実績を下回り、売上高13億6千7百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少や第1四半期と同様に製品在庫縮小のため生産調整等を行った結果、売上原価に占める人件費や減価償却費等の固定費の比率が増加し、営業利益5千7百万円（前年同期比33.5%減）、経常利益6千8百万円（前年同期比29.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4千3百万円（前年同期比27.1%減）とそれぞれ減少しました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1百万円減少し35億6千7百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金(純額)が6千8百万円、現金及び預金が2千3百万円及び未収入金が1千7百万円増加した一方で、商品及び製品が1億1千3百万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して2千1百万円減少し11億7千2百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が1千7百万円及び買掛金が1千3百万円増加した一方で、長期借入金が3千2百万円及び流動負債のその他が1千8百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して2千万円増加し23億9千5百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1千8百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2千8百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には4億3千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億1千5百万円（前年同四半期は2千3百万円の資金増加）となりました。これは主に売上債権の増加6千8百万円、未払消費税の減少1千6百万円及び未収入金の増加1千7百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益が6千8百万円、減価償却費が3千3百万円及びたな卸資産の減少による収入1億8百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2千9百万円（前年同四半期は1千8百万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる収入7千9百万円があった一方で、定期預金の預け入れによる支出8千6百万円及び有形固定資産の取得による支出1千9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5千8百万円（前年同四半期は2千7百万円の資金増加）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入7千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1億2百万円及び配当金の支払による支出2千4百万円によるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日		2,142,000		107,100		582

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
小熊 信一	千葉県市川市	979	45.70
小熊 雄二	福島県いわき市	123	5.76
小熊 千恵子	東京都文京区	116	5.43
前田硝子株式会社	東京都品川区東大井1-6-1	86	4.02
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1-5-5	75	3.52
石川 誉	栃木県鹿沼市	40	1.86
歌川 勝久	東京都小金井市	38	1.77
菊池 方子	埼玉県所沢市	30	1.40
東京東信用金庫	東京都墨田区東向島2-36-10	28	1.32
中央商工株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-44-4	28	1.32
計		1,545	72.14

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式が86千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 86,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,051,300	20,513	
単元未満株式	普通株式 4,500		
発行済株式総数	2,142,000		
総株主の議決権		20,513	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が14株含まれております。

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	86,200		86,200	4.02
計		86,200		86,200	4.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	497,741	521,103
受取手形及び売掛金(純額)	2,672,727	2,3741,343
有価証券	26,735	38,737
商品及び製品	500,096	386,874
仕掛品	5,205	6,503
原材料及び貯蔵品	41,594	45,221
未収入金	29,020	46,219
繰延税金資産	40,001	41,437
その他	12,167	1,919
流動資産合計	1,825,289	1,829,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	346,747	344,383
機械装置及び運搬具(純額)	122,604	108,022
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	14,814	24,908
その他(純額)	6,930	5,942
有形固定資産合計	937,193	929,352
無形固定資産	1,120	1,062
投資その他の資産		
投資有価証券	771,663	773,209
その他	41,006	42,553
貸倒引当金	7,617	7,617
投資その他の資産合計	805,052	808,145
固定資産合計	1,743,366	1,738,560
資産合計	3,568,656	3,567,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,344	153,319
1年内返済予定の長期借入金	175,000	165,200
未払法人税等	8,852	26,228
未払事業所税	7,373	3,664
賞与引当金	63,716	62,094
その他	142,207	123,324
流動負債合計	536,493	533,830
固定負債		
長期借入金	206,400	183,400
繰延税金負債	166,281	165,820
役員退職慰労引当金	144,099	150,487
退職給付に係る負債	111,567	110,140
資産除去債務	28,787	28,794
固定負債合計	657,135	638,643
負債合計	1,193,629	1,172,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,776,869	1,795,818
自己株式	33,831	33,831
株主資本合計	1,850,719	1,869,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	449,317	449,448
その他の包括利益累計額合計	449,317	449,448
非支配株主持分	74,990	76,329
純資産合計	2,375,027	2,395,447
負債純資産合計	3,568,656	3,567,921

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,460,814	1,367,087
売上原価	1,166,170	1,094,360
売上総利益	294,644	272,727
販売費及び一般管理費	207,875	215,050
営業利益	86,768	57,676
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	8,154	9,224
受取賃貸料	4,563	4,275
その他	1,683	2,836
営業外収益合計	14,415	16,349
営業外費用		
支払利息	1,990	1,888
賃貸費用	2,450	2,668
その他	277	1,245
営業外費用合計	4,718	5,802
経常利益	96,465	68,223
税金等調整前四半期純利益	96,465	68,223
法人税、住民税及び事業税	26,883	24,706
法人税等調整額	4,461	2,492
法人税等合計	31,344	22,214
四半期純利益	65,121	46,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,316	2,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,804	43,618

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	65,121	46,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,439	131
その他の包括利益合計	23,439	131
四半期包括利益	88,560	46,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,244	43,749
非支配株主に係る四半期包括利益	5,316	2,390

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96,465	68,223
減価償却費	36,521	33,074
賞与引当金の増減額(は減少)	3,017	1,622
貸倒引当金の増減額(は減少)	122	134
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,390	6,388
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	8,540	1,427
受取利息及び受取配当金	8,170	9,235
支払利息	1,990	1,888
売上債権の増減額(は増加)	163,638	68,750
たな卸資産の増減額(は増加)	95,758	108,296
未収入金の増減額(は増加)	10,394	17,198
仕入債務の増減額(は減少)	38,261	13,975
未払消費税等の増減額(は減少)	19,253	16,423
その他の支出	24,545	12,562
小計	71,711	104,761
利息及び配当金の受取額	8,171	9,234
利息の支払額	2,019	1,864
法人税等の支払額	54,161	7,331
法人税等の還付額	-	10,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,701	115,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	100,556	86,055
定期預金の払戻による収入	90,502	79,053
有形固定資産の取得による支出	15,712	19,701
投資有価証券の取得による支出	801	819
その他	8,014	1,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,553	29,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	70,000
長期借入金の返済による支出	101,600	102,800
配当金の支払額	20,534	24,184
非支配株主への配当金の支払額	1,048	1,051
その他の収入	420	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,236	58,036
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	32,385	28,362
現金及び現金同等物の期首残高	193,094	404,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	225,480	433,026

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	143,396千円	190,694千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	845千円	979千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
受取手形	-千円	3,543千円
裏書譲渡手形	-	19,857

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
運賃及び荷造費	30,342千円	31,393千円
役員報酬	36,996	38,720
給料及び賞与	56,021	57,730
退職給付費用	3,778	3,575
役員退職慰労引当金繰入額	4,609	6,388
賞与引当金繰入額	12,016	12,081
減価償却費	2,928	2,945

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	315,552千円	521,103千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	104,805	126,814
有価証券勘定	14,733	38,737
現金及び現金同等物	225,480	433,026

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	21,177	10.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	24,669	12.00	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間
(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成29年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成29年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成29年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	28円24銭	21円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	59,804	43,618
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	59,804	43,618
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,055

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月10日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 伊集院 邦光
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 杉本 健太郎
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。